

本日(8/20)の動き

8:35 ～ 9:55 実力テスト（国語）
10:10 ～ 11:00 実力テスト（地基/物基）
11:15 ～ 12:05 ABC 授業
DEF 実力テスト（化学）
5 校時より通常授業

7 月 模 試 結 果

…判定を見て考えること

7 月模試の結果が返却されます。もちろん自分の ID でネットでも閲覧可能なので、すでに結果を知っているひとも多いでしょう。

本校 2 学年の全体成績は、

3 教科総合偏差値 57.4（1 月 57.9）
国語偏差値 57.2（1 月 55.2）
数学偏差値 55.8（1 月 57.5）
英語偏差値 57.1（1 月 57.3）

という結果でした。分布を見ると、

総合偏差値 68 以上 前回 27 人→今回 25 人

44 未満 前回 2 人→今回 7 人

となっており、中間層がやや上昇しているものの上位は微減、下位が微増しています。

さて、今回から志望校の判定も出ているのですが、「A がついた（喜）」「E だった（泣）」などとリアクションするのは 2 秒ぐらいにしておきましょう。たとえ、今 A 判定だからといって明日受検しても合格するわけではありません。これから学習する国数英に加え、他の教科も同レベルで継続しなければその判定を合格まで維持することはできません。

また、今回の判定が悪かったからといって志望校を変更するのも良い考えとはいえません。なぜなら、たとえ志望校を低く設定し直しても今までと同じように勉強を怠るのであれば、その低く設定した志望校に合格する実力すらつかないからです。

模試の結果を見て、やるべきことは『自分の学習姿勢を振り返ること』です。「②って答えたけど③が正解だった」の繰り返しでは、本当の意味で模試の解き直しをしたとは言えないのです。

今週は長い

…やるべきことを着実に

今週の土曜日は、中学生向けの学校説明会が本校で実施されます。2 年生諸君は通常通り 7 時間授業（残念ながら 1 ～ 4 校時は 5 分短縮）です。加えて、各係のお手伝いや部活動公開もお願いしていますが、潮陵高校のイメージアップのためにそれぞれの場面でしっかり活躍してください。

さらに日曜日は 60 名ほどが模試を受験します。月曜日は土曜の振替休業ですが、医進の人たちは見学実習があります。

ほんとうに忙しいですね。一つ一つやるべき事を計画的に着実にこなしていきましょう。

そんな君たちに、振替休業明けの 8/28 は前期期末考査 1 週間前だなんてとても言えません。

進めますか? 研修計画

…ルート設定にも工夫が必要

夏季休業中に見学先のイメージがついたと思いますが、いよいよそれらを班として形にしなければなりません。あるところは自己主張し、ある部分は譲歩して全員が納得できる計画を立案してください。見学旅行だからこそ行ける、という場所がきっとあります。

今後の予定

8/20（月）実力テスト
8/25（土）学校説明会（登校日）
8/26（日）高 2 ハイレベル・高 2 看護模試
8/27（月）振替休業・小樽病院見学実習
9/4 ～ 9/7 前期期末考査

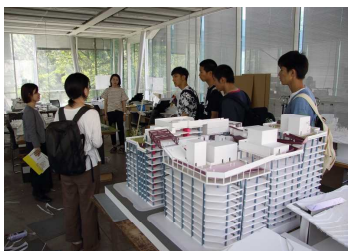
本校卒業生をかたった詐欺行為が発生しているようです。くれぐれもご注意ください。

夏季休業中のあれこれ

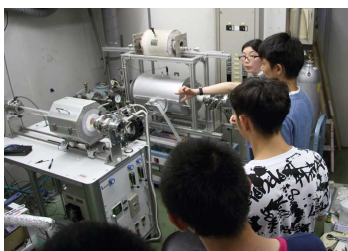
【北海道大学研究室訪問 理系】

7月25日（水）、夏休み初日に行われた北大研究室訪問（理系対象）に、生徒18名と一緒に参加して来ました。理学部と工学部の二班に別れ、私は理学部の研究室を二つ見学しました。

「化学部門分析化学研究室」では、実験の動画を見せて頂きました。例えば、分子の空間における化学反応を調べるために様々な形の空間を作りたい、勿論そのサイズと環境に合うものを使用しなくてはならない。そこで、油の粒子（？）の空間（マイクロフラスコと言うそうです）を作るのですが、水の中の油を動かさなければならない。そこで登場するのが、「光ピンセット」という、レーザー光を物質に当てた時の放射圧によって粒子を動かすというものでした。空間というものの捉え方が変わるような発想と、目に見えないピンセットというものが新鮮でした。研究室の喜多村先生は、生徒達の質問、研究室の就職状況や学部移行の説明についても丁寧に説明してくださいました。



「地震火山研究観測センター」で対応してくださった西村先生は、地震の際に解説でTVにも出演されている方です。この訪問の次の日には、国後島にフィールドワークに行くということだったので、持ち物を準備されている最中で、その道具の説明もしてく下さいました。（熊避けスプレーなどもあった！）こちらは、研究室の学生と接する場があり、それぞれがどのような研究に取り組んでいるかも聞くことができました。また、地震は生活に関わる問題なので、耐震構造に関して工学部と、避難について社会学部となど、他学部と共同で研究することもあるということでした。



両研究室共に、学生が自分の決めた研究内容を主体的に学ぶ姿勢で臨んでいる意欲が素

晴らしく、先生方はそのような学生を惜しみなくサポートし、学生と共に考え、疑問点は解明していこうという研究者の姿が見られました。これは、研究者でなくても、どのような勉強でも、臨む姿勢は真似するべきだと思います。また、論文を読むのにも書くのにも英語が必要、研究には体力が必要ということは、先生も学生も熱を込めて主張していました。

今は勉強もスポーツも様々なことに取り組んでいます。そこからどのような道が開けるか分からないということを考えると、皆さんが今やっていることに無駄なことは一つもないようです。（文：宿院）

【インターンシップ】

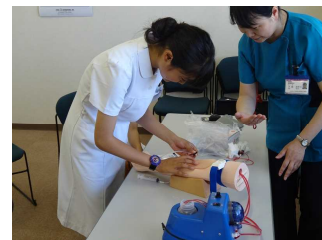
8月1～3日・15日に職業体験を実施しました。おじゃました職場は、市役所・保育所・病院などです。

協会病院と済生会病院の体験のようすを見学させていただきました。

受け入れていただいた職場の担当の方々は大変親切で、高校生に対して細かい部分まで丁寧に説明してくださっていたのが印象的でした。また、病院での看護体験とはいっても、当然のことながら病院の規模や雰囲気は全く異なっており、それぞれの職場の長所短所がよくわかりました。



参加した生徒は、現場の看護師の方からのお話をうかがったり、入院する患者さんたちとの交流、手浴などのお手伝い、血圧測定や採血などの実体験を通して各自の進路目標への気持ちをさらに強めたことと思います。（文：田守）



これらの訪問や体験を単なるイベントとして終わらせるのではなく、自分という人間を形作る材料の一つとして活用してください。

「高校在学中の自分の活動実績」として進路ファイルに、きちんとまとめておくことを勧めます。